

# ジビエの日 富士山 ジビエ

～山の恵み感謝祭～



日時：平成27年3月1日(日) 10時～15時

開催場所：富士山本宮浅間大社 ふれあい広場

お車でお越しの方は浅間大社駐車場をご利用下さい。(有料)

※雨天決行 ※にじます祭りも同日開催  
雨天時は城山区民館にて飲食スペースをご用意しております。

当  
日  
開  
催  
の  
イ  
ベ  
ン  
ト  
紹  
介

## その①：ジビエ料理を食べに行こう！

飲食のプロが監修したレシピをもとに作った、おしゃれで美味しいジビエ料理の無料試食ができます！

※試食メニューは1000食ご用意

## その②：物品展示会

シカ、イノシシの皮を使った各種工芸品やアクセサリーの展示

## その③：狩りに関する展示会

狩りのやり方や、狩りのあれこれがよく分かる展示会！

？  
ジビエってなんだ??  
**GIBIER**  
ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味するフランス語で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化。狩猟によって食料を得てきたヨーロッパの人々にとってかかせない冬のご馳走だそう。

【主催：問い合わせ】



一般社団法人富士宮青年会議所

TEL: 0544-27-9693 住所：富士宮市朝日町12-18

(問い合わせ受付時間：火 水 金曜 9~12時 13~15時)

【共催】

西富士山麓獵友会

富士宮獵友会

富士宮市

(担当：食のまち推進室)

## ◆この事業の目的◆

昨今、鳥獣被害は全国的に深刻な問題となっており富士宮市も例外ではありません。先人達が田畠を開墾し、多くの荒地を農地とかえ、そこで多種類の作物が収穫されるようになりました。しかし現在はその大切な田畠がシカやイノシシによって危機にさらされています。大切な生き物のはずのシカやイノシシを駆除しなければならない現状では、駆除された動物の命を大切にする、という事も必要と考えます。また世界遺産を有する街の景観保護においても田畠の維持管理は重要視されるものだと考えます。これら田畠の保護という観点からも現在は害獣とされているシカ、イノシシを貴重な恵みと位置付けジビエ料理を普及させることは、今後世界遺産として長く富士山を守っていく上で重要と考えます。

これらの背景から、この事業を通じ皆様に鳥獣被害の実態を知つてもらうとともに、シカやイノシシの命の大切さを感じ、シカ肉やイノシシ肉を使った料理の美味しさに気付いてもらい、ジビエ料理を普及させる事を目的とします。

## ■富士宮市における野生鳥獣による被害額及び捕獲の状況■

品目	H23年度	H24年度	H25年度
稻	366 千円	600 千円	千円
豆類	110 千円	100 千円	千円
果実	80 千円	千円	200 千円
飼料作物	7,711 千円	8,482 千円	8,688 千円
野菜	170 千円	2,700 千円	3,300 千円
いも類	60 千円	千円	千円
計	8,497 千円	11,882 千円	12,188 千円

年度	ニホンジカ	イノシシ
H18	75 頭	7 頭
H19	82 頭	9 頭
H20	124 頭	11 頭
H21	493 頭	46 頭
H22	331 頭	38 頭
H23	339 頭	22 頭
H24	319 頭	65 頭
H25	472 頭	20 頭
計	2,235 頭	218 頭

## ◆青年会議所とは◆

青年会議所は、明るい豊かな社会を実現するために日々活動している20歳～40歳までの青年の団体です。活動内容の中には、まちづくり事業・青少年育成事業などがあります。主な事業例では、青少年を対象にしたキャンプや親子での富士登山や研修船『JC青年の船 とうかい号』事業、昨年富士山本宮浅間大社で開催された川床事業や毎年開催されているわんぱく相撲などがあります。また、毎年開催されている富士山御神火まつりは富士宮青年会議所が立ち上げた事業です。

## ◆獵友会とは◆

狩猟者のための団体です。野生鳥獣の生育環境をはじめ、自然環境に強い関心を持ち、狩猟知識の普及と有益鳥獣の保護、鳥獣資源の確保、狩猟の適正化を図ることを目的として活動しています。そのために、狩猟関係法令の周知徹底、野生鳥獣の捕獲、狩猟技術の向上、狩猟者講習及び免許更新等を実施しています。現在、増え過ぎて農林水産業に害を及ぼすシカやイノシシなどを適正頭数に管理するための捕獲や安全な市民生活を守るために、県や市の有害鳥獣対策事業に協力しています。